

出水市が使った **お金** について

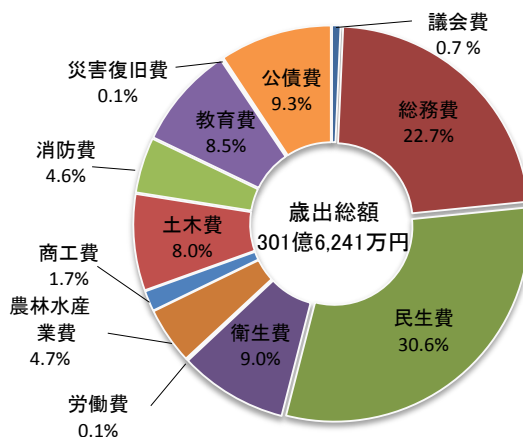
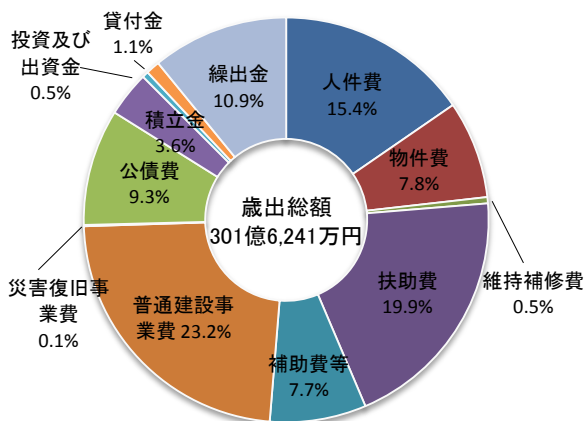
～ 『一般会計』、『特別会計』、『企業会計』の





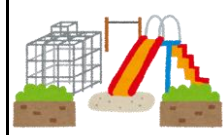
〔歳出〕

歳出決算の内訳 性質 別の区分 (何の費用として使ったか)		
区 分	2016年度決算額	2015年度決算額
人件費	46億4,572万円	49億5,996万円
物件費	23億5,087万円	23億9,468万円
維持補修費	1億6,233万円	1億4,716万円
扶助費	59億9,704万円	54億3,082万円
補助費等	23億1,453万円	23億2,807万円
普通建設事業費	69億9,265万円	26億158万円
災害復旧事業費	4,148万円	1億9,300万円
公債費	28億1,527万円	25億3,752万円
積立金	10億8,051万円	15億4,429万円
投資及び出資金	1億4,458万円	1億3,936万円
貸付金	3億3,000万円	3億5,000万円
繰出金	32億8,743万円	32億6,771万円
歳出合計	301億6,241万円	258億9,415万円

歳出決算の内訳 目的 別の区分 (どの分野に使ったか)		
区 分	2016年度決算額	2015年度決算額
議会費	2億1,331万円	2億3,045万円
総務費	68億5,481万円	47億6,905万円
民生費	92億2,127万円	86億2,405万円
衛生費	27億1,932万円	26億9,550万円
労働費	2,340万円	2,850万円
農林水産業費	14億1,640万円	12億3,396万円
商工費	4億8,928万円	4億2,673万円
土木費	24億2,435万円	20億9,693万円
消防費	13億9,053万円	6億7,996万円
教育費	25億5,327万円	23億1,082万円
災害復旧費	4,120万円	1億5,561万円
公債費	28億1,527万円	25億3,752万円
諸支出金	0円	1億507万円
歳出合計	301億6,241万円	258億9,415万円

※ 各性質の内容については、ページの用語説明欄をご覧ください。



その他の経費	公債費	教育費	消防費	土木費
1万4,188円 2.6%	5万2,065円 9.3%	4万7,220円 8.5%	2万5,716円 4.6%	4万4,835円 8.0%
議会活動、商業、観光、災害復旧など	借金の返済	教育や生涯学習の推進	消防、救急業務	道路、公園、住宅の整備など
◆ 議会運営 ◆ 商業の振興 ◆ 観光業の振興 ◆ 災害復旧事業	◆ 市の借金(市債)の返済費用	◆ 市立の学校、幼稚園などの維持経費 ◆ 商業高校の維持経費 ◆ 生涯学習の推進 ◆ 図書館の管理運営 ◆ 青年の家の運営 ◆ スポーツの振興、スポーツ施設の管理	◆ 消防業務 ◆ 救急業務 ◆ 防災対策事業	◆ 市道の整備、維持管理 ◆ 公園の整備、維持管理 ◆ 公営住宅の整備、維持管理
				

わかりやすく

お知らせします！

2016年度決算について ~



『一般会計』の決算は次のとおりです。

この額から翌年度への繰越財
源1億9,870万1千2百円とな
り、質収支は6億7,012万
2千6百74円1角の減となり
ました。

7歳入から歳出を引いた差引額は
3億4,516万1千4百99円
2角4分です。

一般会計の決算は、歳入総額3億
2,016万1千6百99円、歳出
総額は3億4,516万1千4百99
円2角4分、繰越金4億7,258
万2千568円1角です。

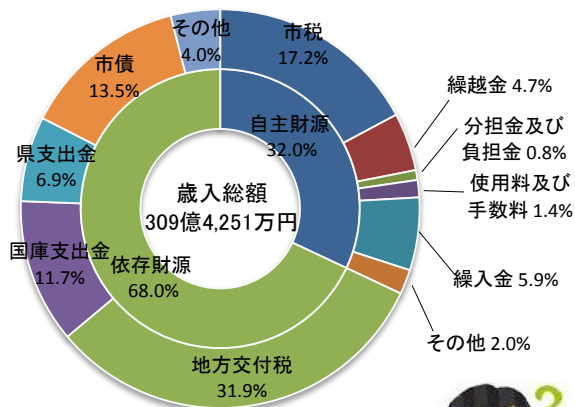
一般会計決算の状況

区分	2016年度	2015年度	増減額
歳入	309億4,251万円	273億4,683万円	35億9,568万円
歳出	301億6,241万円	258億9,415万円	42億6,826万円
差引	7億8,010万円	14億5,268万円	△6億7,258万円
翌年度繰越財源	1億998万円	3億5,582万円	△2億4,584万円
実質収支	6億7,012万円	10億9,686万円	△4億2,674万円

〔歳入〕

歳入決算の内訳

区分	2016年度決算額	2015年度決算額
自主財源		
市税	53億2,779万円	52億316万円
繰越金	14億5,268万円	12億5,491万円
分担金及び負担金	2億5,074万円	3億3,286万円
使用料及び手数料	4億3,186万円	4億2,341万円
繰入金	18億1,771万円	6億6,849万円
その他	6億2,774万円	6億6,030万円
依存財源		
地方交付税	98億6,479万円	102億8,353万円
国庫支出金	36億1,918万円	32億6,432万円
県支出金	21億4,064万円	19億3,416万円
市債	41億5,670万円	19億5,600万円
その他	12億5,268万円	13億6,569万円
自主財源合計	99億852万円	85億4,313万円
依存財源合計	210億3,399万円	188億370万円
歳入合計	309億4,251万円	273億4,683万円



一般会計の決算って、『市民1人当たり』では、どのくらいお金を使っているの？

農林水産業費	衛生費	民生費	総務費	使用割合
2万6,195円 4.7%	5万291円 9.0%	17万537円 30.6%	12万6,772円 22.7%	
農林水産業の振興	市民の健康維持・健康増進	高齢者、子ども、障害者などの福祉サービス	市の運営事務など	主な使い道
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 農業施設などの整備 ◆ 森林整備事業(除間伐事業など) ◆ 林道、農道などの整備 ◆ 生産基盤整備などの県営事業負担金 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ゴミやし尿の処理 ◆ 子ども医療費の助成 ◆ 各種予防接種 ◆ 母子保健事業 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 高齢者への生活支援 ◆ 障害者への生活支援 ◆ 保育所等の運営 ◆ 生活保護費の支給 ◆ 児童手当の支給 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 庁舎や土地などの財産管理 ◆ 自治会、地域の活性化事業 ◆ 行政改革への取り組み ◆ 税務事務 ◆ 各種選挙の実施 	

決算額は、3億6,016万1千4百99円2角4分です。これを1人当たり換算すると、5万7,811円4角2分です。このお金の使われ方を分けてみると、次のとおりになります。

※2017年3月31日現在の人口5万4,072人を1人当たりの基礎として計算してあります。

『特別会計』の決算は次のとおりです。

『特別会計』とは、地方公共団体が特定事業の収入をその事業の支出に充てて経理を行う会計で、一般会計とは切り離して考えます。

特別会計名	歳入	歳出	差引額	主な事業の内容
国民健康保険	92億6,894万円	91億7,530万円	9,364万円	自営業者や農林水産業者などが加入する医療保険を運営するためのもの
後期高齢者医療	6億3,137万円	6億3,035万円	102万円	75歳以上の高齢者等の医療保険を運営するためのもの
介護保険	58億2,992万円	57億7,045万円	5,947万円	介護保険を運営するためのもの
交通災害共済	1,763万円	996万円	767万円	交通事故で死傷した場合に見舞金を支払う共済制度を運営するためのもの
下水道	11億9,327万円	11億9,327万円	0円	出水地域の生活雑排水等を浄化処理するためのもの
特定環境保全 公共下水道	4億6,518万円	4億6,518万円	0円	高尾野地区域の生活雑排水等を浄化処理するためのもの
農業集落排水	2億7,241万円	2億7,241万円	0円	野田地域・江内地区の生活雑排水等を浄化処理するためのもの
地方卸売市場	2,240万円	2,240万円	0円	出水市公設地方卸売市場の施設管理を行うためのもの

『企業会計』の決算は次のとおりです。

出水市の企業会計には、『水道事業』と『病院事業』の2つの会計があります。

企業会計名	収益的収入および支出		資本的収入および支出	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	8億4,007万円	7億8,320万円	9,908万円	4億8,285万円
病院事業	42億8,139万円	45億5,893万円	6億435万円	8億2,946万円

収益的収支: 企業の経営活動に伴う経常的な収支で、収入はサービスの提供による料金などで、支出は施設を維持管理するために必要な費用、人件費、減価償却費、借入金の支払利息などです。

資本的収支: 企業の建設改良事業に伴う収支で、収入は工事負担金や借入金である企業債などで、支出は施設を整備充実させるために必要な工事費、人件費、企業債の元金償還金などです。



出水市の財政状況を**全国共通の指標**でお知らせします！

『主な財政指標』は次のとおりです。

	2016年度	2015年度	類似団体平均 (2015年度)
財政力指数	0.38	0.38	0.53
経常収支比率 (%)	91.1	89.4	88.7

基準財政収入額(標準的な状態での入る税金等)を基準財政需要額(標準的な行政を行ったときに市に必要なお金)で割った数値です。収入額が需要額より大きいと「1」を超え、数値が大きいほど財政力が強いことを示します。

経常的な支出に充てられた財源が、経常的な収入のうちどれくらいであったかを示す割合です。比率が低いほど財政に自由度があることを示します。

出水市と同程度の市と財政状況を比較するための尺度で、地方公共団体を「人口」と「産業構造」で分類しています。近隣では、日置市、熊本県宇城市、宮崎県日向市等が同じ分類となっています。

一般会計の決算額を、『家計簿』にしてみました！

出水市の財政状況をわかりやすく理解するために、2016年度の一般会計の決算額を1万分の1にして、家計簿に置き換えました。

しゅうにゅう

収入

合計 309万4,251円

決算額：309億4,251万円

給料 ※労働・サービスなどの代わりにもらうお金 → 市税、負担金など	55万7,853円
家賃収入 ※土地や建物などの財産により得る収入 → 使用料、財産収入	5万5,125円
銀行からの借入 → 市債	41万5,670円
預貯金の取り崩し → (基金などからの)繰入金	18万1,771円
家族からの仕送り ※足りない分を家族が援助するお金 → (国からの)地方交付税、各種交付金	111万1,746円
各種手当、補助金など ※特定の条件により県などから入るお金 → 国庫支出金、県支出金	57万5,983円
その他の臨時収入 ※臨時的に入るお金 → 手数料、寄付金、繰越金、諸収入	19万6,103円

ししゅつ

支出

合計 301万6,241円

決算額：301億6,241万円

食費、光熱水費、生活用品 → 人件費、物件費	69万9,660円
医療費、教育費 → 扶助費	59万9,703円
各種会費など ※自治会や習いごとの会費 → 補助費等、投資及び出資金	24万5,912円
家や車の修理代 → 維持補修費、災害復旧事業費	2万 380円
財産の購入 ※家の建築、車や家電製品などの購入に必要なお金 → 普通建設事業費	69万9,265円
預貯金 → 積立金	10万8,051円
家族への仕送り ※親や子どもの生活を援助するお金 → 貸付金、繰出金	36万1,743円
ローンの返済 → 公債費	28万1,527円





用語説明

- **人件費** 職員の給与や議員の報酬などの経費
- **物件費** 施設の管理や物品の購入のための経費
- **扶助費** 市が市民の生活などを援助するために、市民や団体にお金や物品を提供するための経費
- **補助費等** 市が他の地方公共団体や民間に対して行う現金的給付に係る経費。報償金、保険料、補助金、負担金など
- **普通建設事業費** 道路、学校、公園などの公共施設を建設するための経費
- **繰出金** 一般会計から特別会計などの一般会計以外の会計に支出するための経費
- **公債費** 市の借金(市債)の返済のための経費

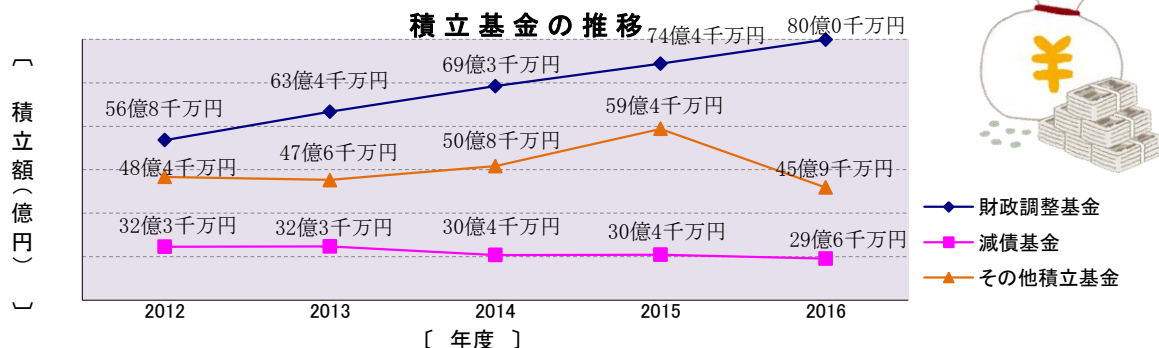
出水市はこんな**財産**を持っています！

市も一般家庭と同じように土地や建物、自動車、預貯金などの『財産』や『借金』を持っています。これらの財産や借金について、2017年3月31日現在の状況をお知らせします。

『財産』の状況は次のとおりです。

区分	2016年度末現在高	備 考
土地 (うち山林)	3,292万9,070㎡ (2,858万3,315㎡)	土地のうち、主なものは山林です。 
建 物	33万2,916㎡	建物のうち、主なものは学校、公園、住宅などの施設です。 
有 価 証 券	4,588万円	市が保有している株券です。
出 資 金	1億 377万円	各種協会等への出資金です。
貸 付 金	16億2,442万円	特定事業のために市民や別会計の事業にお金の貸し付けを行っているものです。
車 両	174台	市が保有している公用自動車や消防車両などです。
基 金	201億7,104万円	一般家庭の預貯金に相当するもので、18の基金があります。
積 立	155億4,618万円	計画的に積み立て、赤字になりそうなどに取り崩したり、特定の事業を行うための基金。
果 実 運 用	32億6,270万円	原資は取り崩さず、その利息を使って事業を行う基金。
定 額 運 用	9億1,941万円	一定の金額の基金を原資に、土地を購入したり、貸付けを行う基金。
特 別 会 計	4億4,276万円	特別会計が積み立てている基金。主に国民健康保険基金。

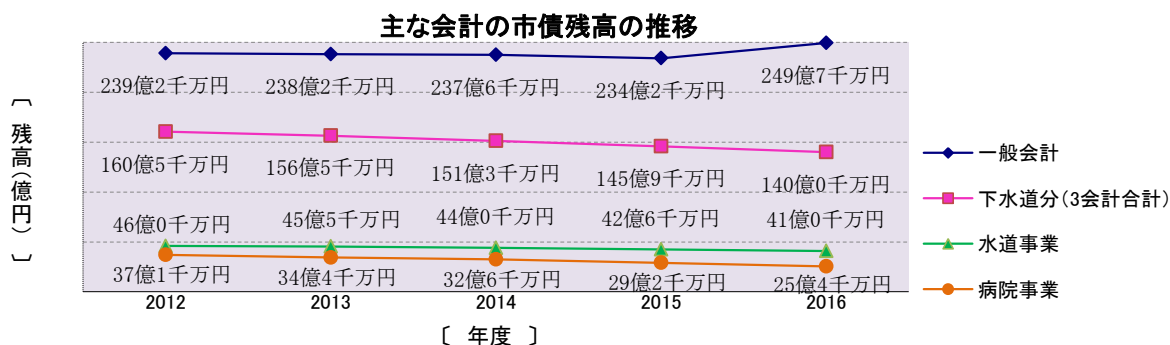
財産のうち、積立基金の積立額の推移は、次のグラフのとおりです。



『借金(市債)』の状況は次のとおりです。

会 計 名	2016年度末現在高	2015年度末現在高	増 減 額	
一 般 会 計	249億6,524万円	234億1,632万円	15億4,892万円	
下 水 道 分	下 水 道 特 別 会 計	76億7,833万円	80億4,709万円	△3億6,876万円
	特定環境保全公共下水道特別会計	47億 558万円	48億6,351万円	△1億5,793万円
	農業集落排水特別会計	16億1,500万円	16億7,466万円	△5,966万円
地 方 卸 売 市 場 特 別 会 計	1億1,239万円	1億3,183万円	△1,944万円	
企 業 会 計	水 道 事 業	40億9,784万円	42億6,341万円	△1億6,557万円
	病 院 事 業	25億4,458万円	29億1,761万円	△3億7,303万円

主な会計の市債残高の推移は、次のグラフのとおりです。



財政の『健全化判断比率』について

地方公共団体の財政破綻を未然に防ぐため、2007年6月に財政の健全性をチェックする「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」が制定され、2007年度決算から財政の健全化に関する指標（健全化判断比率、資金不足比率）を作成し、公表しています。
本市の2016年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率は次のとおりです。

指標	2016年度	2015年度
実質赤字比率	—	—
連結実質赤字比率	—	—
実質公債費比率	7.6	7.7
将来負担比率	—	—
資金不足比率	—	—
水道事業会計	—	—
病院事業会計	—	—
地方卸売市場特別会計	—	—
下水道特別会計	—	—
特定環境保全公共下水道特別会計	—	—
農業集落排水特別会計	—	—

『実質公債費比率』とは、借金返済のためのお金が、通常見込まれる収入に占める割合のことです。
少ないほうがいいですよ！



用語説明と解説

○実質赤字比率

一般会計の歳入から歳出を差し引いた額が赤字になる場合に、この赤字額が標準財政規模（地方公共団体が標準的な状態で、通常見込まれる収入の規模）に占める割合です。

出水市では、歳入から歳出を差し引いた額がプラスなので、実質赤字比率は算出されていません。

○連結実質赤字比率

実質赤字比率を、公営企業会計などを含めた全会計をもとに算出した場合の割合です。本市では、全会計において歳入から歳出を差し引いた額がプラスなので、連結実質赤字比率は算出されていません。

○将来負担比率

この先、負担しなければならないお金が、通常見込まれる収入に占める割合のことです。将来の財政を圧迫する可能性を示します。本市では、基金（預貯金）積立額の増加などにより、将来負担比率は算出されていません。

○資金不足比率

公営企業会計ごとに算出されるもので、当該会計に資金の不足額がある場合に、その不足額が料金収入の規模に占める割合です。本市では、2016年度各公営企業会計に資金不足が生じなかったことから、資金不足比率は算出されていません。

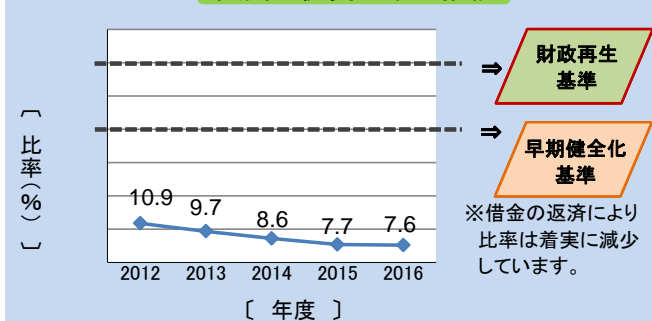
○早期健全化基準

この基準以上になると、早期に改善が必要とされ、財政健全化計画を策定し健全化を行います。いわゆるイエローカードです。

○財政再生基準

この基準以上になると、財政再生計画の策定が義務付けられ、借金などが国の管理下に置かれるため、自主的な財政運営ができなくなります。いわゆるレッドカードです。

実質公債費比率の推移



将来負担比率の推移



近隣市および類似団体の状況

近隣市および類似団体の2015年度の実質公債費比率および将来負担比率は次のとおりです。

＜ 近 隣 市 ＞				＜ 類 似 団 体 ＞			
	人口	実質公債費比率	将来負担比率		人口	実質公債費比率	将来負担比率
出水市	53,758	7.7	—	日置市	49,263	7.9	18.3
阿久根市	21,197	8.0	—	日南市(宮崎県)	54,124	11.2	92.1
いちき串木野市	29,290	9.9	75.0	日向市(宮崎県)	61,777	12.0	79.1
伊佐市	26,804	9.7	—	荒尾市(熊本県)	53,453	10.8	15.9
水俣市(熊本県)	25,418	13.0	36.8	宇城市(熊本県)	59,781	11.9	41.3

※人口は、2015年国勢調査によるものです。